

〔倭訓栞前編六〕かづさ 上總をよめり、かみつふさのみとふを略したる也。

〔古事記傳三十〕布佐フサは、麻なり、古語拾遺に、好麻所生、故謂之總國フサノクニ古語麻謂之總也、今爲上總カミツフサ下總シモツフサ二國とあり、麻れを布佐と云しこと、此他には見えたることなげ

〔諸國名義考上〕上總 下總

和名抄に、上總府加三豆不佐、國府在市原郡、下總府之毛豆不佐、國府在葛飾郡、名義は、古語拾遺に、天富命、更求沃壤、分阿波齋部、率往東土、播殖麻穀、好麻所生、故謂之總國フサノクニ穀木所生、故謂之結城古語麻謂之總也、今爲とあり、この義なり、和名抄に、下總國相馬郡布佐郷あり、續日本後紀仁明天皇承和二年三月辛酉、下總國人陸奥鎮守外從五位下勳六等物部匝瑳連熊猪改連賜宿禰云々昔物語小事大連錫節天朝出征坂東、凱歌歸報、籍此功勳、令得於下總國、始建匝瑳郡、仍以爲氏、是則熊猪等祖也とあり、この匝瑳は、佐總なるべきか、さて或書に、此國風土記として引たるには、總謂本枝也、昔此國生大楠、長及數百丈、時帝怪之下、占之、大史奏曰、天下大凶事也、因茲斬捨彼木、倒南方也、上枝曰上總、下枝曰下總也、云々、とあるはいかゞ、今世にかづさしもふさといへるは略語なり、

位置

〔地勢提要乾〕各國經緯度附里程

上總富津村、極高三十五度一十八分半、經度東四度二分半、前同二十六里二十四間半、

〔日本經緯度實測〕北極出地

上總 木更津 三五度二三分〇〇秒 屋形村武射郡 三五度三六分三〇秒中

東西里差

山城 京 〇度〇〇分〇〇秒中 上總 木更津村 東四度〇八分四二秒

疆域

〔南總郡郷考乾〕郡郷

疆域、南至安房國界、北至下總國界、東西至海、路程南北二十二里餘、東西十三里餘、又曰、古へ總ノ國